



豊かな子

明るく、思いやりのある子
夢に向かって、自ら学ぶ子
身体を鍛え、最後までやりぬく子



諫早小「運動会」、ひあしっ子の成長

最高の運動会でした。やっぱり、諫小の子どもたちはすごいです。ゴールデンウィークが終わり、3週間弱の練習期間で、よくそこまで、自分（たち）で考え、行動できるようになったものです。

この運動会で育った「力」について

①自立「自分の力で」

今の自分がすべきこと、とるべき行動ができること。1年生も、おしゃべりせずに、まっすぐに整列できるようになりました。



②協働のためのコミュニケーション「力を合わせて」

クラスの仲間や同じ係の人と、声をかけ合い、相談しながら行動していく力。リレーの作戦をたてたり、より良いバトンパスを考えたり、またどうしたら上手く係の仕事が進められるか話し合ったりして、よりよい行動を見つけていくことは、今後仲間と共に、より良く生きることへとつながっていくものと期待します。



③聞く力

人間が学んだり、他とコミュニケーションを図ったりする時に、多くの場合「聞く」という行動を始めにします。落ち着いて人の話が聞けないことは、致命的なことです。

子どもたちには、運動会の練習で「聞くこと」について繰り返し指導してきました。音として話を聞き、その言葉や話を自分の頭や心に届けさせ、考え、思いをアウトプット（話す）する。まずは、しっかり「聞く」、次に「考える」、そして最後に音として「話す」。この流れをどの子にもしっかり定着させていきたいと、今強く思っています。



5 月生活目標の振り返り

『力を合わせて最高の運動会に』

※ひあっしー「力を合わせての能力」との関連



- 係、当番、縦割りの仕事を分担して協力しよう



- 集合はきびきびとしよう



- 学習の準備・後片付けを協力してしよう



- みんなで使う物は大切にしよう

今月は、10ひあっしー獲得です。運動会を通して、仲間との心の距離が、ぐんと縮まったようです。物を大事にしたり、きちんと片づけたりすることを、更に頑張りましょう。

6 月生活目標

『心を見つめて美しい心を育てよう』

※ひあっしー「美しい能力」との関連

- はさみ歩きをしよう
- ハンカチ、ちり紙を忘れないようにしよう
- 雨の日は室内で静かに遊ぼう
- 服装、身体を清潔にしよう
- 言葉遣いに気を付けよう



2 学期制のよさを生かす①

諫早小では、13年前から2学期制で教育活動を進めています。そのメリットについて、改めてご紹介したいと思います。

①全国の小学校の状況：3学期制78%
2学期制22%
(令和4年度 文科省資料)

②2 学期制のメリット

- 始業式、終業式等の学校行事の時間が削減され、授業時間が確保できる。
- 通知表の回数が2回に減ることによって時間にゆとりが生じ、教職員・児童の双方に時間的・精神的な余裕ができる。そのため、学習活動が充実し、教職員が児童に向き合う時間も増える。
- 前期の通知表は、夏休みの間にある程度準備ができるため、9月の学習活動に詰め込み感が少ない。3学期制の7月12月、3月は、成績をつけるための学習が多くなり、児童にはとても窮屈な学習となります。
- 2学期制の7月、12月は成績つけの慌ただしさ、窮屈さがありません。本校では、7月を命や平和の指導に、また12月を人権の指導に重点を置き、指導の充実を図っています。
- 2学期制は、長期休業中に入る区切りがはっきりせず、メリハリが出ないというご意見があります。夏休み前集会、夏休み明け集会(冬休みも同様)を行い、自己の振り返り、目標づくり、生活指導を行っていますのでご安心ください。
- 教育活動の一層の充実に向け、「教科担任制」等の新しい取組についても研究実践しています。

【参考】 全国小学校の教科担任制実施状況(令和4年度 文科省資料)

書写20% 社会41% 算数21% 理科17% 生活42%

【本校】 6年書写 6年社会・音楽・家庭 3~6年理科 3~6年外国語 2~4年図工

※次号では、2学期制の良さを生かした6、7月「平和・命の指導」について特集します。